

令和7年2月7日

保護者の皆様

千葉市立本町小学校
校長 久保木 修

令和6年度 学校評価について

向春の候、保護者の皆様には日頃より本校の学校教育にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。また、この度はお忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。ここに、結果と考察をまとめましたので、ご報告させていただきます。なお、本年度の設問1～8は、本校のめざす児童像「やさしく（徳）、かしこく（知）、たくましく（体）」が、どの程度達成できているかを確認するための設問となっています。設問9以降は、相談のしやすさや教育環境の整備、特色ある教育活動など、学校として常に大切にすべき項目についての設問となっています。（各設問文は、対象により表現が異なります。）

学校評価アンケートの結果概要と考察

【調査対象と回答数】 保護者 205、 児童 314、 教職員 23

【各項目の4段階評価の平均値】

4：よくできている 3：概ねできている 2：あまりできていない 1：改善を要する

No	評 価 内 容	保護者		児童		教職員	
		6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
1	学校は、子どもたちが気持ちのよいあいさつや返事ができるよう、自ら実践し、指導している。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.3	3.2
2	学校は、道徳教育に力を注ぎ、子どもに思いやりの心や規範意識を育てている。	3.3	3.3	3.4	3.3	↑ 3.2	3.0
3	学校は、教育活動において、人権を尊重する姿勢で子どもの指導に当たっている。	3.4	3.4	↑ 3.5	3.3	↑ 3.3	3.1
4	学校は、学習への関心・意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けられるように指導している。	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0
5	学校は、学習内容が分かりやすく、楽しい授業をしている。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.0	2.9
6	学校は、進んでノートをとったり、発表したりできるよう指導している。	3.4	3.3	↑ 3.2	2.9	↑ 2.9	2.7
7	学校は、学習活動においてギガタブを効果的に活用している。	3.3	3.3	3.6	3.5	3.0	2.9
8	学校は、休み時間などによく遊んだり、運動したりするよう指導している。	3.4	3.4	3.4	3.4	↑ 3.0	2.8
9	学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。	3.5	3.4	3.6	3.6	↑ 3.1	2.9
10	学校は、明るく清潔な学校づくりをめざし、教室環境などを整えている。	3.4	3.3	3.6	3.5	3.0	3.0
11	学校は、廊下・階段・校庭など校内で、子どもたちが安全に過ごせる環境を整備している。	3.4	3.3	3.6	3.5	3.2	3.2
12	学校には、地域や学校の特色を生かした自慢できる教育活動や行事がある。	↑ 3.5	3.3	3.5	3.5	↓ 3.4	3.5
13	学校は、学校だより・学年だより・学級だより等を通し、学校での取組や子どもたちの様子を地域や保護者に分かりやすく伝えている。	3.5	3.4	3.5	3.4	3.1	3.1
14	学校は、保護者や地域の人などが、積極的に教育活動にかかわれるよう工夫している。	↑ 3.5	3.3	/	/	↑ 3.2	2.8

※昨年度比較により、0.2以上上昇した項目には↑、降下した項目には↓を示してあります。

【考 察】

保護者アンケートについては、どの設問も昨年度と同等もしくはプラス0.1~0.2で、好ましい結果であると捉えています。特に設問12「学校には、地域や学校の特色を生かした自慢できる教育活動や行事がある」はプラス0.2となっており、コロナ禍前同様に様々な学校行事が制限なく実施できるようになっていることを好意的に捉えていただけていると考えます。全体の中で相対的に低い3.3という数値になっている設問は3つあります。設問7「学校は、学習活動においてギガタブを効果的に活用している」については、令和3年度より活用が始まったギガタブですが、まだまだ活用の余地があると思いますので、健康面に配慮しながら引き続き様々な教科の学習において、効果的な活用ができるよう取り組んでまいります。

児童アンケートについては、2つの設問で0.2以上の上昇が見られました。設問3「学校は、教育活動において、人権を尊重する姿勢で子どもの指導に当たっている」は、児童への設問では、「自分は、相手の気持ちを考えて、友達と仲良くしている」というもので、学級や学年などで友達と関わる中で、友達を大切にしようという意識が育っているものと考えられます。また、設問6「学校は、進んでノートをとったり発表したりできるよう指導している」は、0.3の上昇が見られ、最も大きく上昇しました。一人一人の児童が自分の考えを書いたり発表したりすることは重点を置いて指導しているところであり、引き続き表現力の向上を図っていきます。全体的に前年度より上昇した設問が多い中で、3つの設問は昨年と同等でした。設問8「学校は、休み時間などによく遊んだり、運動したりするよう指導している」について、グラウンドで体を動かすことが好きな子がいる一方で、運動することを好まない児童もいます。体育の学習などを通じて、体を動かすことへの関心を高め、健康的な運動習慣を子どもの頃から身に付けられるようにしていきます。

教職員のアンケートについては、保護者・児童に比べ、全体的に数値が低くなっていますが、昨年度より0.2以上の上昇が見られた設問が6つありました。中でも、設問14「学校は、保護者や地域の人などが、積極的に教育活動にかかわれるよう工夫している」は、0.4上昇しました。これには運動会や学習参観、親子遊びの集いといった学校全体の行事だけでなく、各学年の学区内の校外学習に保護者の皆様に関わっていただいたり、地域の方をゲストティーチャーとして学校に招いたりするなどしていることが考えられます。その一方で、設問12「学校には、地域や学校の特色を生かした自慢できる教育活動や行事がある」は、0.1下降しました。学区内には多くの地域資源があり、それらを活用した学習を行っている一方で、まだまだ工夫の余地があると考えられますので、児童がより主体的に活動できるような学習を探ってまいります。

自由記述の主な記載内容と回答

本年度は、37名の保護者の方が自由記述欄にご意見を寄せてくださいました。今年度から金曜日には宿題を出さないノー宿題デーを始めましたが、「土日でも心も体もリフレッシュできる」といった肯定的な意見もある一方で、学習量の減少などを心配する声もありました。設定した意図としては、自分の興味関心のあるものに主体的に取り組めるようにすること、自ら進んで取り組みたいことの時間を確保すること、土日の家庭での生活を充実することなどがありますので、趣旨をご理解いただき、引き続きご協力いただきたいと思います。運動会について、年々気温が高くなっており、熱中症の心配もあるため、午前中開催を肯定的に捉える意見がありました。その一方で、種目については、前年度に内容が似ているのではないかという声や、徒競走のレースの組み方等についてのご意見もいただきました。運動会に限らず、「行事の意図や説明が不十分である」というご意見もありましたので、運動会での各学年の種目の意図などを学年だより等でもお伝えしていくようにします。学校からは、学校だよりをはじめとして各種のおたよりを紙やすぐーるでお伝えしていますが、「内容がわかりにくいときがある」「間違いが多いので正しい情報がほしい」「必要な情報が分散している」といったご意見をいただきました。日程の記載漏れなど、保護者の皆様が不安に感じてしまうことのないよう、正確な情報を発信していくよう努めてまいります。

児童が安全で楽しく、充実した学校生活を送れるようにするためには、保護者の皆様との連携、協力が欠かせません。気になる点やご心配なことがございましたら、お手数でも学校にご連絡をいただければ幸いです。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。